

みんな元気



第78号 令和7年2月発行

児童養護施設 共楽養育園

〒745-0801
山口県周南市大字久米1347
TEL / 0834 (25) 0017
FAX / 0834 (36) 0017
E-mail / info@kyoraku.or.jp

平素より、私たち共楽養育園の活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

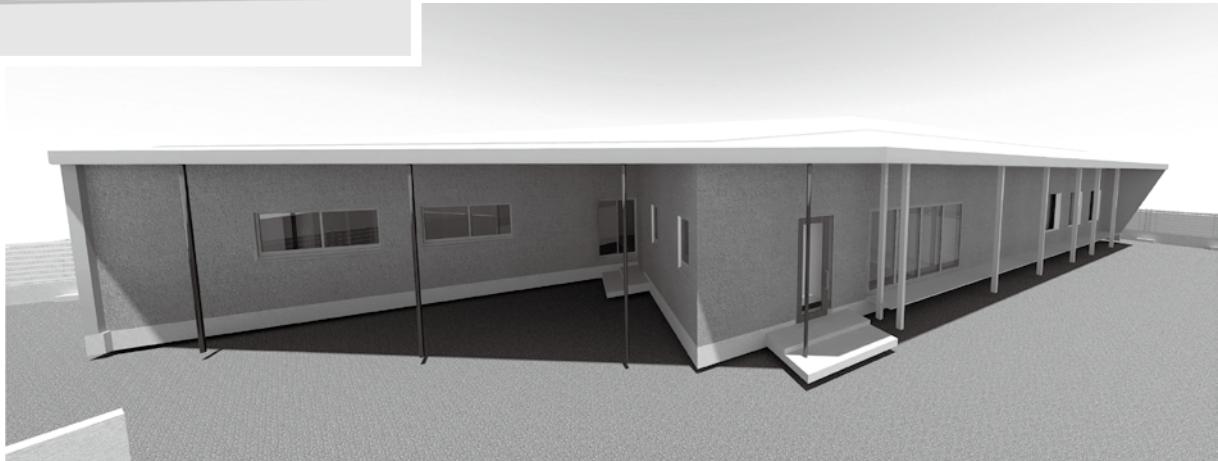
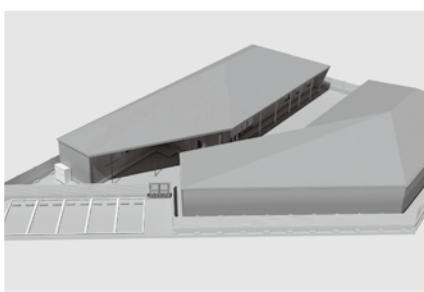
皆様のご支援のおかげで、子どもたちは、安心して、日々を過ごし、それぞれの夢や目標に向かって歩むことができております。特に昨年は、多くのご寄付やイベントでのご協力を頂き、子どもたちの笑顔が一段と輝く場面を多く見ることができました。

さて、この度、新たなグループホーム建設に向けた起工式を執り行いました。地域の中で一般家庭と変わらない家庭的な雰囲気の中で、施設の子どもたちが帰りたいと思える安心して過ごせる場所を作っていくことが私たちの願いです。そして、地域の方々にも受入れていただけるよう職員と子どもたちで頑張っていこうと思っております。

今年は、共楽養育園としても変化のある大きな一年となります。引き続き子どもたち一人ひとりが自分らしく成長できる環境を整えてまいります。

皆様の温かなご支援が子どもたちの大きな力となっております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

共楽養育園
園長 内富吉保



新しい年が始まりました

門松づくり

今年度も毎年恒例の門松づくりをしました。毎年来てくれている卒園生は今回も来てくれました。

いつもお世話になっている支援者さんの家におじゃまし、竹を切るところからしました。

今年度はいつも作っている職員とは違う職員が門松を作ることになり、かくいう書いてる私ですが、竹を切っていると使っていない筋肉を使いすぐに疲労してしまいました。卒園生はとても余裕そうで切るスピードも全く違い、流石だと感心しておりました。作り方を教わりながらやっていくと最後は飾りつけでその人のセンスが問われるところです。園の正面に置くものなのでとてもプレッシャーでしたが、卒園生が作ったものを参考に作ってみると初めてにしては上出来で作った側としては大満足の出来でした。他の職員にも褒められ大満足です。

今年も子どもたちにとっても職員にとっても共楽園にとってもいい年になってほしいです。



初 詣

皆さん新年明けましておめでとうございます。共楽園の子どもたち、職員ともに大きな事故、怪我をすることなく新年に向かえることができとても嬉しい限りです。

今年も毎年お世話になっている来迎寺に行き、新年の挨拶とお参りをしてきました。お参りしたあとにはお菓子をいただいたので、みんな輪になって楽しく美味しく頂きました。

子どもたちに「今年は何を頑張るの?」と質問をしてみると「勉強」であったり「運動、スポーツ」であったり個人各自目標を掲げていた為、素晴らしいと思いました。各個人目標を達成するために健康な毎日を過ごさないといけません。そのためにも職員一人ひとりが改めて養育について考え、子どもたちと過ごさないとならないなと感じることができました。今年も事故、怪我なく、「みんな元気」で過ごしたいです。

この一年も子どもたち、職員ともに更なる飛躍の一年になりますようにお祈り申し上げます。



どんど焼き

「地域のどんど焼きに参加しました!」

凍えるような寒さが続いている中、珍しく「今日は暖かいね」と子どもたちと言い合った1月13日、久米地区どんど焼きに参加しました。広場の真ん中には竹を組んだやぐらが作られ、しめ飾りやしめ縄、お札などが詰め込まれており、やぐらを初めて見た子は興味津々でした。やぐらの中をくぐることもでき、始めは怖がって行けない子も「〇〇ちゃんは去年このやぐらをくぐったから、風邪を引かなかったのかも」と話すと行く気になり、笑顔でやぐらから出てきました。また、やぐらに点火した際は、燃え上がる音に驚きつつ「すごいね」と言ってじっと見ていました。

どんど焼きの後は、折り紙やコマ回し、かるたなどのコーナーに参加し、地域のお年寄りの方々にやり方を教えてもらって世代交流を楽しみました。また、防災イベントもあり、毛布で担架を作って人形を運ぶタイムを計ったり、家具転倒防止のワークショップなど楽しみながら防災について学ぶことができました。これらのコーナーやイベントはスタンプラリーになっており、全てに参加してスタンプをもらった子もいました。どんど焼き以外にも、地域の季節の行事に触れながら、子どもたちが健やかに育つことを願っています。



瑞宝单光章おめでとうございます

私は、昭和59年に、保育士として、共楽園に入職しました。

当時の共楽園は、大舎制で子どもは百人以上措置されていました。今では考えられない数です。職員一人で、5人から7人の子どもたちを担当していました。当時の大きな行事として、アイリンピック・虹ヶ浜での海水浴・園旅行等があり、それらは、バスを借りての大移動でした。夏に行われていた球技大会に向けて、男子はソフトボール、女子はバレーの練習を夏休みになると、暑い中、毎日練習をしていました。その頃は、皆で取り組むのが当たり前でしたが、今は園生活も、小舎・グループホームと小人数での生活形態に変わり、全員で集まって取り組むことは数える位になってきています。また、昔は中学卒業で園を出て行く子どもたちも少なくありませんでしたが、今は、高等学校や大学・専門学校にまで進学できる時代になりました。子どものやる気と努力はもちろんですが、多くの皆様からの暖かいご支援が、子どもたちにとって、今も大きな支えになっていることを感じます。

私は、退職後現在90歳になられた大先輩の藤井恵美子先生を目標に、頑張ってきました。先生は、近所で暮らしながら、共楽園や園を出た子のことを心配し見守って下さっており、今でも私の憧れの保育者です。

ここまで、様々な事がありました。歴代の理事長・園長先生をはじめ先輩職員・同僚の皆様のお陰で、40年余り保育士として、仕事を続けてくることが出来ました。そして、この度、内閣府より瑞宝单光章を頂きました。誠に光栄に思います。今後も、感謝の気持ちを忘れず、今回の受賞を励みに頑張っていきたいと思います。変わらぬご指導ご鞭撻を、よろしくお願いいたします。

星出 ゆり子



児童文化奨励絵画展入選おめでとうございます

小学3年生Sさんの描いた作品が、児童文化奨励絵画展において入選しました。

「賞をもらって『やったあ』と思いました。とてもうれしいです。私は将来優しいお母さんになりたいです。そしてお城のような大きな家に住みたいでお城の絵を描きました。」

(小学3年生 Sさん)



Have a nice trip!

たんぽぽ旅行

今年度は日帰りで広島県へ旅行に行きました。宮島を散策し、夕食にはホテルでのディナーバイキング、公共交通機関に触れるなど様々な経験をすることができました。

まず電車で宮島まで向かい、フェリーに乗り換みました。小学生は初めて乗る電車・フェリーだったこともあり、不安そうな表情を見せる子もいれば窓から見える景色にワクワクしている子と沢山の表情を見せてもらいました。

宮島では世界遺産の厳島神社を始め、島内にいる鹿に触れたり、水族館に行きペンギンと触れ合ったりと日常では味わうことのできない体験をしました。ベンチに座ってかき氷を食べていると、静かに寄って来た鹿に気が付かずびっくりして泣き出しちゃい、その後に撮った写真には笑顔がありませんでした…。

ホテルでのディナーバイキングでは、好きな物を好きなだけ食べていましたが、中には宮島内の食べ歩きで満腹になりバイキングではあまり食べられなかった子もいました。

炎天下の中での旅行にはなりましたが、素敵な夏の思い出もでき、体調不良者が出ることなく安心安全に旅行が終えられたことを嬉しく思います。



中高生旅行

8月19、20日に京都、大阪に旅行に行きました。移動は車3台での大がかりな移動となりました。

1日目は京都に行きました。まず伏見稻荷大社に行き、みんなで記念撮影をしました。そのあとは、嵐山方面と清水寺方面の二手に分かれ移動しました。清水寺方面は始めてハツ橋作りの体験を行きました。一からハツ橋を作った事もなければ、ハツ橋を食べたことがない子もいて、初めての体験をする事となりました。みんなとても上手に作る事ができました。嵐山方面は暑さのため、少し体調が悪くなってしまった子もいた為、水族館に行きました。職員も二手に分かれていた為お互いのチームがどのように動いていたのか分かりませんが、

ホテルに帰ってきた子はみんなとても良い表情でした。

2日目は大阪駅に行く人とひらかたパークに行く人の二手に分かれました。

ひらかたパークではたくさんのアトラクションに乗り、とても楽しい時間を過ごす事ができました。大阪駅方面ではショッピングを楽しんだり、お土産をたくさん買う事ができました。今回の旅行で初めて電車に乗った子も、大阪で電車を乗り回したので初めてとは思えないくらい上手に乗れるようになりました。

今回の旅行では中高フロアの誰一人もかけることなく全員で行くことができ楽しい思い出作りをすることができました。



すみれ旅行

すみれのみんなで初めての1泊2日の旅行。行き先は子どもたちと話し合って大分方面となりました。7月に新型コロナ第11波が到来、前日には宮崎県で大きな地震が起きましたが、9日早朝全員揃って元気に出発することが出来ました。

1日目は櫛ヶ浜駅から電車に乗り、徳山駅で新幹線に乗り換えて新山口駅まで行きました。日頃公共の乗り物を利用することが少ない子どもたちにとって、とても良い経験となりました。新山口駅で2台の車に乗り込んで大分を目指します。壇之浦サービスエリアで休憩。冷たくて甘いソフトクリームでドライブ気分も高まります。お昼前に大分マリーンパレス水族館「うみたまご」に無事到着しました。初めて遠出する子どもがほとんどで、車での移動に疲れた様子もありましたが、思い思いに昼食をとって、海の生き物を楽しみました。

すぐそばにある高崎山ロープウェイで移動。猿の群れや生活について飼育員さんの話を聞きながら、日陰でくつろいだり、エサを食べる猿の様子を見ました。小さな子ザルのかわいらしさに子どもたちも暑さを忘れて微笑んでいました。

夜は別府龜の井ホテルで一泊しました。バイキングの食事やゲームコーナーで卓球やゲームをして楽しい夜となりました。

2日目はハーモニーランド！ 可愛いキャラクターの乗り物やお土産に何から楽しんでよいか迷う姿もありました。いつもと違う空間は、戸惑うことも多かったけど、子どもたちにとってとても良い経験と思い出作りになった事と思います。楽しいすみれ旅行は、子どもたちの生活に元気を与えてくれました。



園内旅行



幼児・小学校旅行

10月27、28日に福岡へ旅行に行きました。

旅行の前日は楽しみで眠れない子どももいました。1日目はBOSS福岡、海の中道です。BOSS福岡では最新の映像技術とゲームを向き合わせたVRゲームや、プロジェクションマッピング、ポルダリング、長く幻想的な滑り台などで遊びました。予定していた時間を過ぎるほどに楽しんでいました。海の中道では天気が曇りから雨に変わってしまい、花畠をみて遊んでいる最中に皆で走って車に戻り、大慌てでした！これもとても良い思い出です。

夜はホテルでの豪華な夕食、綺麗な夜景、大きな風呂など快適に過ごすことができました。

2日目はいのちのたび博物館で恐竜をみました。大きな標本や恐竜の歴史、動く模型に子ども達は驚いており、驚きすぎて泣いてしまう子もいました！最後には北九州アウトレットに向かい買い物をしました。それぞれ洋服や、みんなの事を考えながらのお土産選び楽しいショッピングとなりました。

最新技術に触れたり、博物館で歴史を学んだり、刺激的な2日間でした！



青葉旅行

9月21日～22日の土日で、青葉の家のメンバーで九州方面への旅行に行ってきました。主な目的地は熊本県のグリーンランド、福岡県の大刀洗平和記念館、小倉駅周辺散策です。

数日前から天気予報とにらめっこ毎日でこの日も福岡県に向かっている最中に「夕方以降雨予報」となったので1日目と2日目を入れ替え、この旅行のメインでもあったグリーンランドへ行って遊びました。夕方からの雨予報だったので12:30から1時間ほどバケツをひっくり返したような雨が降ることはありましたが、その時間は昼食時間としました。その後は天候にも恵まれ遊び尽くすことが出来ました。ゴーカートや空中ブランコ、恐怖のジェットコースターなど楽しいアトラクションの数々で、子どもたちそれが普段見れないような笑顔で楽しんでいました。もちろん職員も子どもたちと一緒に最高の時間を過ごしました。グリーンランドで遊んだ後は福岡県大牟田市のホテルに移動してチェックイン。晩ご飯はホテル近くのショッピングモールで各自食べたい物を食べました。さすが男の子、本当によく食べました。夕食後はショッピングモールを1時間程度散策し、早めにホテルに帰って翌日の行程も存分に楽しむため早めの就寝です。

2日目の朝はホテルで朝食を食べたのですが子ども同士で起きし合い、朝食会場に来たというにはビックリしました。そして福岡県朝倉郡にある大刀洗平和記念館へ行き、ここでは大刀洗飛行場の歴史、特攻隊など戦争について学び、平和の大切さ、命の尊さを考える時間となりました。

午後は小倉駅周辺でのショッピングを楽しみました。山口県では考えられないような規模の駅やビルの大きさに子どもたちも驚いていました。旅行をしっかり満喫したのか、帰りの車内では寝ている子もいましたが、まだまだ旅は終わません。旅の締めくくりは徳山に戻ってバイキングでの食事。これでもかとお腹いっぱい、楽しくワイワイしながらたくさん食べました。そして無事、青葉の家へ帰りました。

今回の旅行では時間を見て動く、人に迷惑を掛けない事をテーマにした旅行でしたが達成することが出来ました。怪我や事故、大きなトラブルもなく、みんなが楽しむことが出来ていました。子どもたちの中で今回の旅がかけがえのない思い出になってくれたらいいなと感じております。初めての経験、新しい発見、ひとつひとつ出来事が宝物です。みんなで最高の時間を共有できたこと、本当に素晴らしいことだと思います。今後も、青葉の家は子どもたちの成長を見守っていきます。



自立支援担当職員より

8月10日、「おかえり会」を開催しました。

これは、恒例になっていた共楽養育園祭がコロナ化以降行われておらず、卒園生との繋がりを閉ざさない為に考えました。

初めて行う行事でもあり、どの位の卒園生が参加してくれるか心配しました。当日、20代から30代の卒園生が集まりました。

昔の園祭の映像を見ながら談笑し、話に花が咲いてました。今は、携帯電話で繋がっていますが、やはりお互いに顔を見て会うことで、数年前のことがよみがえって、最後まで楽しく過ごすことが出来ました。

今回、以前からお世話になっている『美沢』様にお弁当をお願いしました。

お匂に弁当の蓋を開けると、口々に「うなぎ」と言いながらみんなで美味しくいただきました。美沢様の心づかいに感謝します。

「今日、来て良かった。」「会えんと思った子にも会えた。」「また、呼んでね。」等、卒園生から声がありました。次回も卒園生に楽しんでもらえる企画を思案しています。

今回、集まってくれた卒園生、都合があり来れなかった卒園生も次回元気に会いましょう。



ご成人おめでとうございます



成人式を迎えて大人の仲間入りをしました。先生方のおかげでここまでなんとかやってこれました。本当に感謝しています。大人の仲間入りはしましたが、まだまだ努力しなければならないことがたくさんあります。これからも社会人としての自覚を持ち、一日一日を大切にしながら施設の子どもたちのお手本になれるように精一杯努力していきます。まだ迷惑をかけてしまうかもしれませんがこれからもよろしくお願いします。

卒園生Rさん



成人式がありましたが、参加できませんでした。仕事は忙しく、残業が多いですが、自分の与えられた役割をしっかりと行っています。休みの日は車で出かけることもありますが、家でゲームをしてゆっくり過ごしています。これからも仕事に前向きに取り組んでいけるように頑張りたいと思います。

卒園生A君

へび年の皆さんに新年の抱負を聞きました。

張

去年は進展があったというよりは、自分の欠点に気付く事が多く、よくよく思えば迷惑を掛けていることが多かったように感じました。

今年は心機一転して全体を引っ張れる職員になれる様に頑張りたいです。

職員 2年目 塚本悠生

力

去年は自分の力不足だと思うことがたくさんありました。今年は、言葉の「力」や想像する「力」を大切にしながら子どもたちと日々ぶつかり合って一緒に成長して行ける年にしたいです。

職員 2年目 藤岡佑己采

挑

昨年は社会人1年目ということもあって様々なことを挑戦する機会がありました。

今年も挑戦することで自分の課題や改善点を知ることができる良い1年にしたいと思います。

職員 1年目 源内勇太

世

世界平和もだが自分の平和の為にも勉強を頑張ったり友達と仲良くしたりしたい。喧嘩しないで仲良く遊びたいです。

小学5年生男子

燃

情熱いっぱいに1年を過ごしたいです。

小学5年生女子

昨年は野球界の大谷翔平さんや芸人やすこさんの活躍に日々励まされた方も多いのではないでしょうか。メディアを通して見える活躍の裏には、はかりしれない数々の努力がある事と思います。桜の木も寒い冬を乗り越えて春になると綺麗な花を咲かせて私たちのこころを和ませてくれますね。

子どもたちにもどんな春が待っているのでしょうか。春になる前のちょっぴり不安に感じられる時も、子どもたちと共に過ごす時間が子どもたちの春につながりますように一日一日を大切にていきたいと思います。

山野 欣子

編集後記